

## 株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日

配当金受領 期末配当金:3月31日  
株主確定日 中間配当金:9月30日

単元株式数 100株

定時株主総会 毎年6月

公告方法 電子公告(<https://www.fujimiinc.co.jp>)  
ただし、事故その他やむを得ない事情によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載することといたします。

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社

〒100-8212  
同事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

〒137-8081  
郵便物送付先 新東京郵便局私書箱第29号  
及び照会先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
電話 0120-232-711 (通話無料)

## 株式会社フジミンコーポレーテッド

お問い合わせ先：経営企画部経営企画課  
TEL：052-503-8181 (代表)  
URL： <https://www.fujimiinc.co.jp>

Copyright (C) 2024 Fujimi Incorporated. All rights reserved.

## 各種手続のお申出先

- 支払期間経過後の配当金のお支払いについては、株主名簿管理人にお申出ください。
- 住所変更、単元未満株式の買取、配当金受取方法の指定等

証券会社をご利用の株主様は、お取引の証券会社へお申出ください。

証券会社をご利用でない株主様は、特別口座の口座管理機関である日本証券代行株式会社へお申出ください。

ご注意 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、日本証券代行が口座管理機関となっておりますので、下記特別口座の口座管理人に、お問い合わせください。

特別口座管理機関 日本証券代行株式会社

連絡先 〒168-8620  
東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
日本証券代行株式会社 代理人部  
電話 0120-707-843 (通話無料)

株式会社フジミンコーポレーテッド 株主通信

# FUJIMI TODAY vol.59

2024.4.1 ~ 2024.9.30

2024年12月発行

## 特集

## 誌上工場見学

技術を磨き、心をつなぐ

# FUJIMI

証券コード 5384



お客様目線の実践

パウダー&サーフェスカンパニーへの進化

「働きがい」と「働きやすさ」の醸成

当事者意識とやり抜く力の確立

革新への挑戦



この印刷物は、適切に管理された森林で生産された木材を使った環境配慮型のFSC®認証紙と、植物油を使用し、VOCの排出を抑えた環境対応型リサイクルインキ「ベジタブレインキ」を使用しております。



# 技術を磨き、 心をつなぐ

私たちの「磨く技術」は半導体をはじめとした  
さまざまな産業で活かされています。  
フジミはお客様にあらゆる製品を  
磨いていただくことで、  
人々が快適に暮らせる未来の創造に  
貢献します。

代表取締役社長

関 敬史

## 株主の皆様へ

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

### 上期を振り返って

当社グループを取り巻く環境は、世界的な景気後退と地政学リスクへの懸念が継続し、世界経済の不透明感が依然として残る状況でありました。インフレ率は鈍化傾向にありますが、ロシア・ウクライナ情勢及び中東情勢の緊張の継続に加え、中国経済の成長率は緩やかに減速し、世界経済の下振れ懸念が続いております。

世界半導体市場は、AI向け先端半導体デバイスの需要が牽引し、長らく続いた調整局面は出口が見えてきました。一方で、パソコンやスマートフォン向けなどの需要は力強さを欠いており、全体としては依然バラつきがあるため、本格的な回復には今しばらく時間を要するものと思われれます。

こうした状況下、半導体向け製品の販売が増加したことに加えて円安により、当中間連結会計期間の業績は、売上高30,746百万円(前年同期比21.3%増)、営業利益5,702百万円(前年同期比44.4%増)、経常利益5,620百万円(前年同期比26.9%増)、親会社株主に帰属する中間純利益4,370百万円(前年同期比29.4%増)となりました。

### 2025年3月期の見通しについて

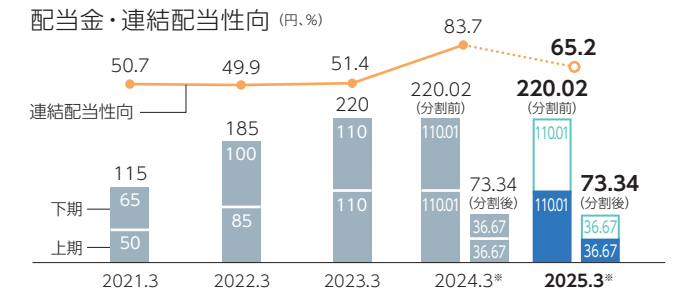
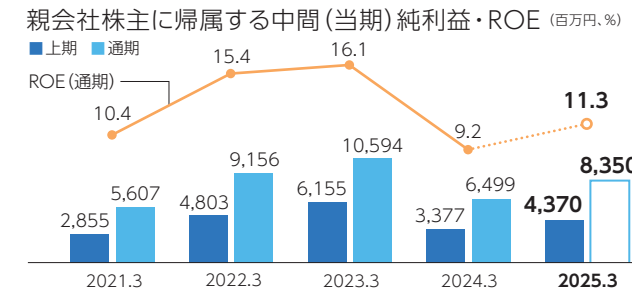
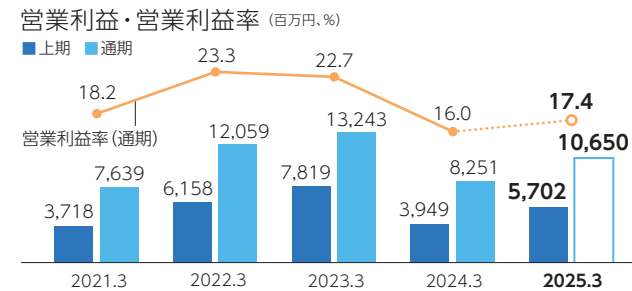
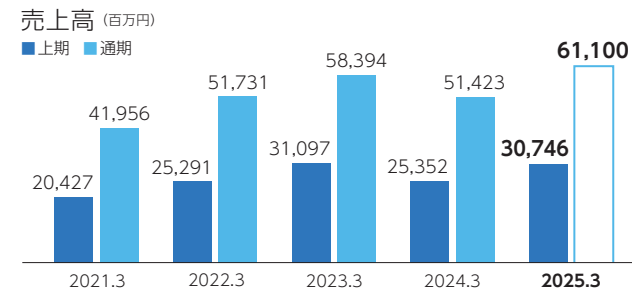
上期において、CMP、シリコンウェハー向け製品及びハードディスク基板向け製品の販売が増加したことから、通期の連結業績予想を、売上高61,100百万円(前期比18.8%増)、営業利益10,650百万円(前期比29.1%増)、経常利益11,150百万円(前期比24.5%増)、当期純利益8,350百万円(前期比28.5%増)に見直しました(9月20日発表)。配当は期初予想からの変更はなく、中間配当は1株36.67円とし、年間配当は1株73.34円を予定しております。

半導体市場は、中長期的には旺盛な需要が見込まれており、当社は研究開発や設備投資の手を緩めずに推進するとともに、誠実に、真摯にお客様の目線に立って、製品・サービスを提供してまいります。併せてサステナブルな経営の根幹を成す人材投資やESGに関わる取り組みも積極的に推進してまいります。

また、10月21日付で研磨材(主に研磨微粉)のメーカーである南興セラミックス株式会社の発行済株式の75%を取得し、連結子会社化しました(詳細はP.7に掲載)。今後は当社とともに研磨材ビジネスの収益性の向上、競争力の強化を図り、サプライチェーンの強化と事業のさらなる拡大につなげてまいります。

皆様のご厚情に感謝するとともに、これまでと変わらぬご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## 連結決算ハイライト ※2025年3月期通期は予想値



※当社は、2023年7月1日付で普通株式1株につき3株の割合をもって株式分割を行っております。そのため、2024年3月期及び2025年3月期(予想)の配当金については、株式分割前の金額も記載しております。

# 誌上工場見学



当社には、国内工場として、愛知県内に枇杷島工場・稲沢工場、岐阜県内に各務原工場・各務東町工場・溶射材事業部の製造工場があります。株主様向け工場見学は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、2019年10月を最後に見合わせていましたが、当期より再開しました。今回の特集では、株主様向け工場見学の内容を誌面でご紹介します。

開催概要	
日時	2024年10月24日(木)
見学場所	各務原工場
来場者	25名
条件	2024年3月31日時点で当社株を100株以上ご所有の株主様より抽選
募集案内	定時株主総会決議通知に同封

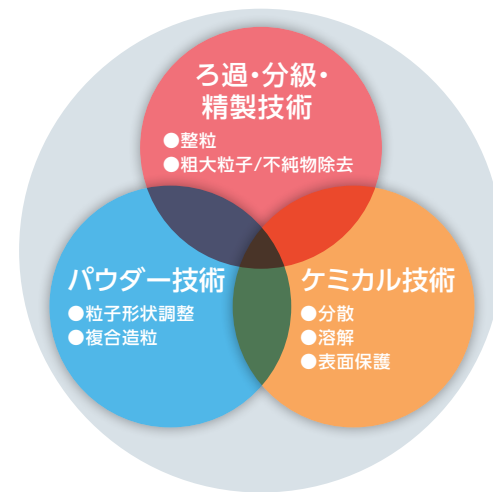
当日のスケジュール	
10:30	オープニング
11:05	各務原工場見学
	●FO(粉体)製造工程
	●GLANZOX/PLANERLITE(液体)製造工程
	●品質管理・検査施設見学 ●展示品見学
11:50	昼食会(取締役、本部長との歓談)
12:50	各務原工場見学 再開
13:40	クローージング



## 1 オープニング | フジミのコア技術と製造設備をご紹介

### フジミのコア技術

当社には「ろ過・分級・精製技術」、「パウダー技術」、「ケミカル技術」の3つのコア技術があります。「ろ過・分級・精製技術」は、粒子を均一にし、研磨対象物の品質に悪影響を及ぼさず粗大粒子や不純物を除去する技術を指します。「パウダー技術」は、用途に合わせた粒子の選定、形状制御及び評価を行う技術を指し、ミクロン(100万分の1メートル)単位での粒子制御が可能です。「ケミカル技術」は、研磨材の性能向上に寄与する分散・溶解・表面保護作用を発現させる添加剤を適切に設計・配合・選定する技術を指します。当社はこれらコア技術を組み合わせ、さまざまな用途向けの研磨材や溶射材、機能性材料を開発・製造・販売しています。近年はお客様の高度な要求に応えるため、コア技術の深耕・強化にも取り組んでいます。



### 製造設備は全て自社設計

研磨材の原料となるアルミナやジルコンサンド(粉体製品の原料)、コロイダルシリカ(液体製品=スラリーの原料)などは、国内外の原料メーカーから仕入れています。これらの原料を元に粉体であれば粉砕や分級、スラリーであれば混合やろ過などの加工を施し、製品化しています。

当社の製造設備は全て自社で設計しています。各務原工場では、大量に製造する場合においても安定した高い品質の製品を提供するために、原料の投入量、混合時間など各製造工程における管理を徹底しています。お客様との間で培われた工程管理のノウハウを現場に展開し、品質や製品性能などで競争優位性があります。

また、各務原工場内には、品質保証本部の拠点があり、工場の近くには研究開発センターも配置して、密接な人的交流を可能としております。例えば、研究開発センターの実験室レベルで行われている製品の設計や開発業務を工場側が理解することにより、大量生産する場合の注意点への理解を深め、逆に、大量生産に移行する場合には、どのようなリスクが発生するかを研究開発センターの開発者が理解することによって、高い品質の製品を作れるようになります。製品の開発から量産、お客様の手元に届くまで研究開発・品質管理・製造が一体となって「お客様目線の実践」と「ものづくり」に取り組んでいます。

このほか、5Sや安全衛生活動も積極的に行っています。微細で純度の高い製品を製造しているため、クリーンルームの整備をはじめ、用具の定置管理や床清掃などを毎日行い、施設環境整備を徹底しています。加えて、工場周辺も清掃し、地域貢献活動にも取り組んでいます。

- アルミナ……酸化アルミニウム(=Al<sub>2</sub>O<sub>3</sub>)。とても硬く研磨材のほか、砥石やセラミックの材料などに用いられる。
- ジルコンサンド……ケイ酸ジルコニウム(=ZrSiO<sub>4</sub>)。ジルコンを含んだ堆積物。
- コロイダルシリカ……二酸化ケイ素(=SiO<sub>2</sub>)で粒子径10~300nmの超微粒子が溶液内で分散している。

2 各務原工場見学 | 工場概要と製造工程をご紹介

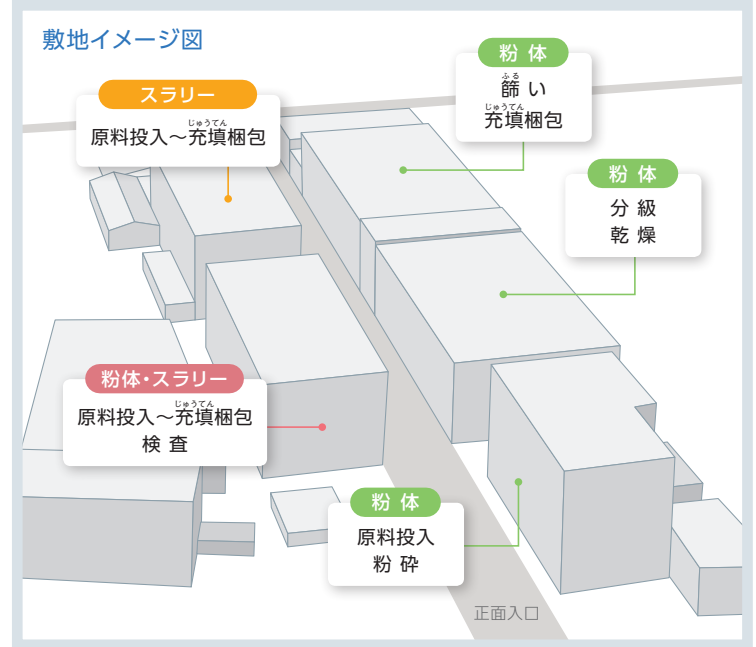
各務原工場の概要

各務原工場は1985年に操業を開始し、FO、GLANZOX、PLANERLITE、COMPOLなどの製品を製造しています。各務原工場はフジグループでNo.1の生産量を誇っています。

各務原工場には、大きく2つの製造工程があります。一つはFOの粉体の製造工程、もう一つはGLANZOX、PLANERLITEなどの液体(スラリー)の製造工程です。

所在地	岐阜県各務原市上戸町7-1-8
従業員数	261名(当工場に勤務する生産本部・品質保証本部の人数)
主な生産品	FO、GLANZOX、PLANERLITE、COMPOL、DISKLITEなど

※2024年3月31日現在



**粉体** | パウダー技術 |

- 1 原料投入**  
原料と水を混ぜます。
- 2 粉砕**  
原料を粉砕機で目的の粒子サイズに粉砕します。
- 3 分級**  
水流を利用して、形状や大きさの揃った粒子を取り出します。
- 4 乾燥**  
分級した粒子の水分を完全に除去します。
- 5 ふるい**  
乾燥後の粒子を篩いにかけて、ほぐします。  
**製品完成**
- 6 充填梱包**  
できあがった製品をドラムやナイロン袋などに充填梱包。最終点検もここでを行います。
- 7 製品出荷**  
お客様のもとへ出荷されます。

**スラリー** | ケミカル技術 |

- 1 原料投入**  
地下水から不純物を取り除いた超純水と原料を混ぜます。
- 2 計量**  
原材料や添加剤を計量します。
- 3 添加剤溶解**  
研磨性能を向上させる添加剤を、原料に混ぜるために溶解させます。
- 4 混合**  
研磨材主原料と各種添加剤を混合します。
- 5 ろ過**  
粗い粒子や異物を取り除くため、ろ過します。  
**製品完成**
- 6 充填梱包**  
ろ過した製品を容器に充填梱包します。
- 7 製品出荷**  
お客様のもとへ出荷されます。

**用語解説**

<b>FO</b>	単結晶シリコンインゴットをウェハーにスライス(切断)した後、表面の粗さを整えるラッピング工程で使用されます。
<b>GLANZOX</b>	ラッピング後のシリコンウェハーを鏡面に仕上げるポリッシング工程で使用されます。
<b>PLANERLITE</b>	シリコンウェハー上に回路を積層するため、絶縁膜や配線を平坦化するCMP工程で使用されるポリッシング材です。

**製造工程で出た排水は…**

製造工程で使用した水は、不要な微粉などが含まれていますので、排水設備にて不要な微粉と水に分離処理します。

不要な微粉は Tiles の原材料などに再利用されます。

分離処理した水は川へ排水します。当社では地域の排水基準よりも厳しい基準を用いています。

## 研磨材メーカー南興セラミックスの株式取得

当社は、半導体関連の売上が全体の85%、非半導体関連の売上は15%(2024年3月期)と、半導体関連への依存割合が大きい売上構成となっております。

当社としては、安定的かつ持続的な成長を遂げるためには、特定の市場や用途に偏ることがない事業構造が必要と考え、非半導体関連の新規用途開拓や研究開発を推進しており、新規事業の創出及び成長に必要な技術取得に向けたM&Aの検討も進めております。

2024年10月21日付で、当社は南興エステート株式会社(2024年10月18日付で商号を南興セラミックス株式会社から変更)より、南興エステート株式会社が新設分割により設立し、研磨材などの製造・販売事業を承継させた新設会社である南興セラミックス株式会社(以下、南興セラミックス)の発行済株式の75%を取得し、同社を連結子会社化しました。

### 株式取得の目的、今後の展開

南興セラミックスは、1946年の創業以来、研磨材(主に粉体)の専門メーカーとして、常に時代とともに進化する技術に対応し、お客様の期待を超える製品の提供を目指し、高精度で高性能な研磨材の開発に取り組んでまいりました。お客様の開発の初期段階から緊密に連携し、試行錯誤を重ねながら、お客様一社一社の仕様に合わせた最適な製品の提供を強みとしています。

当社と南興セラミックスは、それぞれ独自に培った分級技術などの製造技術を用いて、ラッピング材や研削砥石・研磨布紙向けの砥粒として使われる研磨微粉「炭化ケイ素研磨微粉(GC、C)」や「アルミナ研磨微粉(WA、A)」を製造・販売しており、この度の株式取得により、両社が保有する研磨材のラインナップ、調達ルート、技術力及び生産拠点の拡充を推進し、同じグループとして研磨材ビジネスの収益性の向上、競争力の強化を図り、研磨材のリーディングカンパニーとしてさらなる企業価値向上を目指してまいります。

なお、南興セラミックスは、これまで通り事業活動を行い、販売、生産、品質保証システムなどの変更はありません。

### 株式取得した企業の概要

名称	南興セラミックス株式会社
設立年月日	2024年10月18日(創業1946年)
本社所在地	東京都北区堀船2-19-19 パレ・ドール王子ビル5階
資本金	10百万円
事業内容	研磨材等の製造及び販売
生産拠点	塩尻工場 長野県塩尻市大字宗賀字牧野3661 市川工場 山梨県西八代郡市川三郷町黒沢598-5
従業員数	44名
売上高	研磨材等の売上高:1,453百万円(2023年11月期)

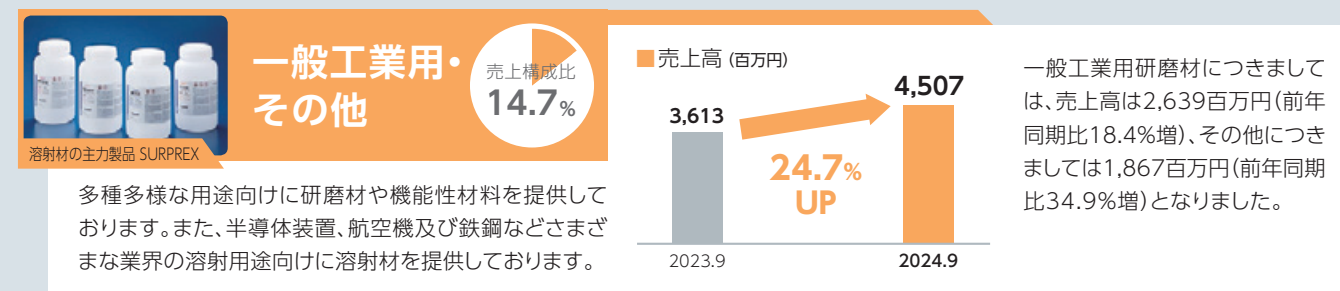
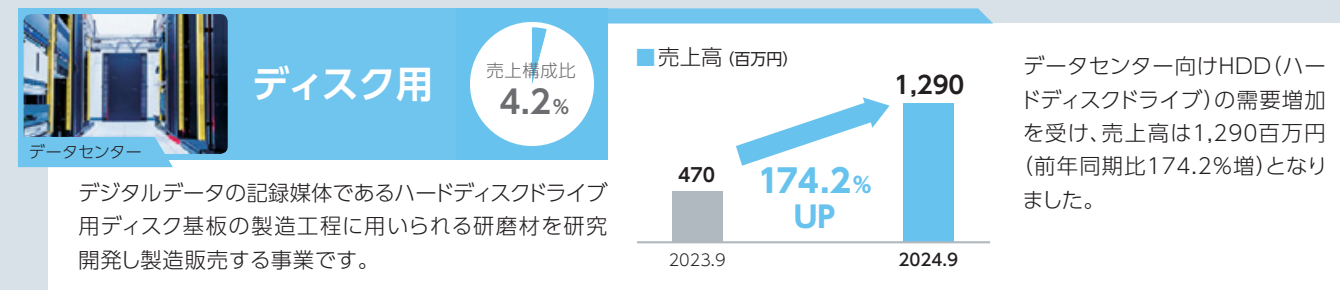
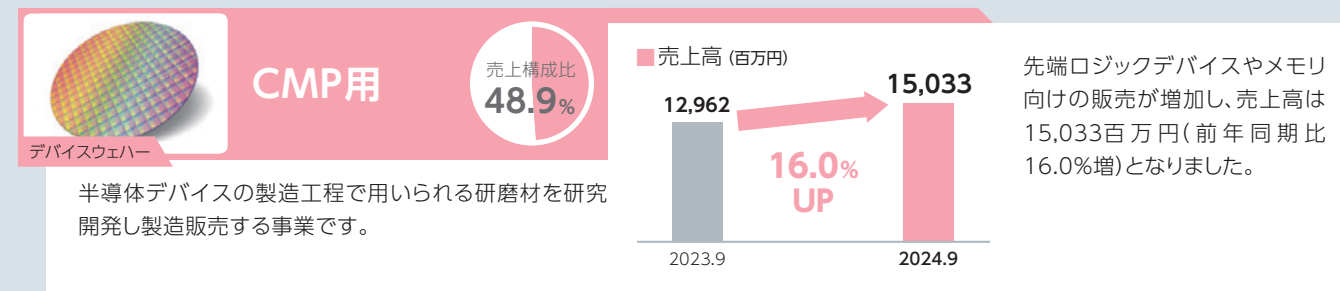
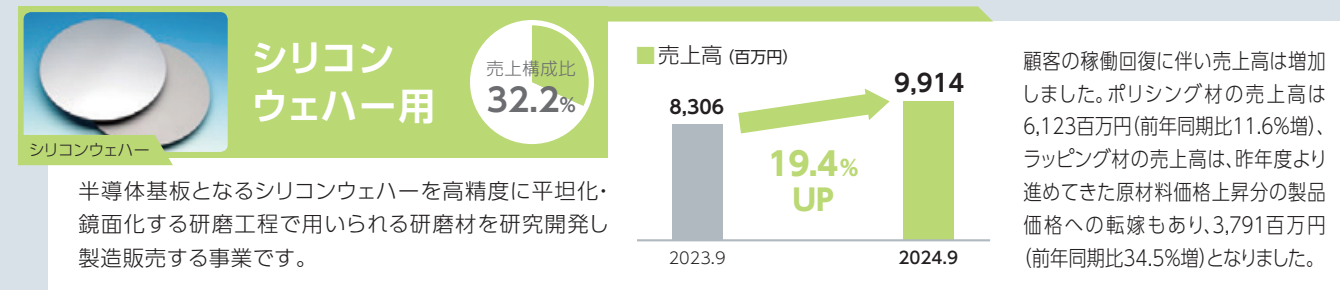


南興セラミックス製品。研磨微粉のほか、当社製品ラインナップにない粗粒も製造



南興セラミックスホームページ  
<https://www.nankoab.co.jp/>

## 用途別の動き



## 中西椋選手、中村美月選手が 2024ジャパンパラ陸上競技大会に出場

2024年9月28日(土)、29日(日)に屋島レクザムフィールド(香川県高松市)で開催された2024ジャパンパラ陸上競技大会に当社所属の中西椋選手と中村美月選手が聴覚障害の категорияで出場しました。

中西椋選手は男子走幅跳、三段跳に出場し、三段跳では自身の持つ日本記録を8cm更新する14m20cmを記録しました。

中村美月選手は女子800m、1500m走に出場し、両種目共にシーズンベストを更新しました。

今後も2人の活躍を応援してまいります。



## 日本デフ陸上競技協会と オフィシャルサポーター契約を締結

2024年9月、一般社団法人日本デフ陸上競技協会(以下、JDAA)と、オフィシャルサポーター契約を締結しました。

今後は、当社所属の中西椋選手と中村美月選手をサポートするとともに、JDAAのオフィシャルサポーターとして、デフスポーツの普及・発展に向けて、共に取り組んでまいります。



## Automechanika Frankfurt 2024に出展

2024年9月10日(火)～9月14日(土)までの5日間、ドイツのフランクフルトで開催されたAutomechanika Frankfurt 2024に初出展し、自動車外装向けコンパウンド製品MIRAFLEX™を展示しました。

Automechanika Frankfurtは、自動車アフターマーケットを対象とする見本市で、自動車製造の鍵を握る世界の13都市で展開されており、中でもドイツ・フランクフルトの開催規模は世界最大級で、今回4,200社(80カ国・地域)が出展しました。



## 学会誌に論文掲載/セミナーで講演

2024年7月23日(火)発行の国際学会誌ECS Journal of Solid State Science and Technologyに、CMPスラリーに関する論文が掲載されました。

また、2024年8月28日(水)、第156回型技術セミナーで3D金属プリンターにおいて超硬合金の造形に関する研究成果を講演しました。

詳細は当社Webサイトの技術情報をご覧ください。

<https://www.fujimiinc.co.jp/service/technical/index.html>

## 新工場建設の起工式を実施

2024年9月24日(火)、岐阜県各務原市で半導体用スラリー製品の生産能力拡大を目的とした新工場の起工式を執り行いました。新工場名は、「各務山(かかみやま)工場」に決定し、10月1日(火)より建設工事を開始しました。



建設地 岐阜県各務原市各務山1丁目6番地

## 野村IR資産運用フェア2025に出展

2025年1月9日(木)～1月28日(火)に野村IR資産運用フェア2025に出展し、今回は、オンラインに加え、同期間内に開催されるリアル(対面)イベントにも参加します。

この機会に当社へのご理解を深めていただけますと幸いです。皆様のご来場を心よりお待ちしております。

野村IR資産運用フェアの詳細はこちらをご覧ください。

<https://fair.nomura-ir.co.jp/>

### ●野村IR資産運用フェア2025 リアル(対面)

会場	ベルサール東京日本橋 5階
当社出展日	2025年1月10日(金) 9:00～17:30
当社説明会	2025年1月10日(金) 15:00～15:30 (セミナーROOM2)

## 名証IRエキスポ2024に出展

2024年9月6日(金)、7日(土)に愛知県名古屋市の吹上ホールで開催された名証IRエキスポ2024に出展しました。会期中は多くの株主・個人投資家の皆様に当社ブースへお越しいただき、会社の概要や強み、業況を中心にご説明しました。

## 石徹白での活動紹介ビデオ7作目を制作

2024年10月に石徹白での活動紹介ビデオ7作目を当社ホームページに掲載しました。

7作目は、これまで事務局(元プロジェクトメンバー)中心であった(高畑山での)森づくりの活動が、社員にも広がり新たなスタートを切りました。参加者の森づくりにかける思いと今後の展望についてご紹介しています。ぜひ、ご覧ください。

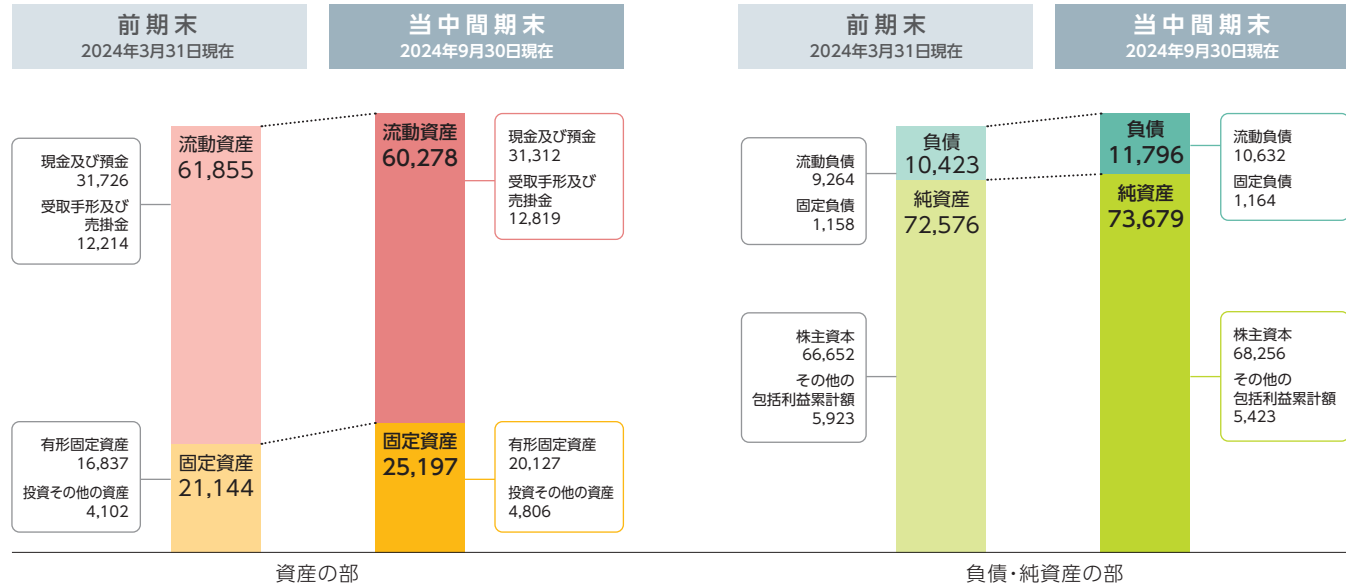


過去の作品をはじめ、こちらからご覧いただけます。

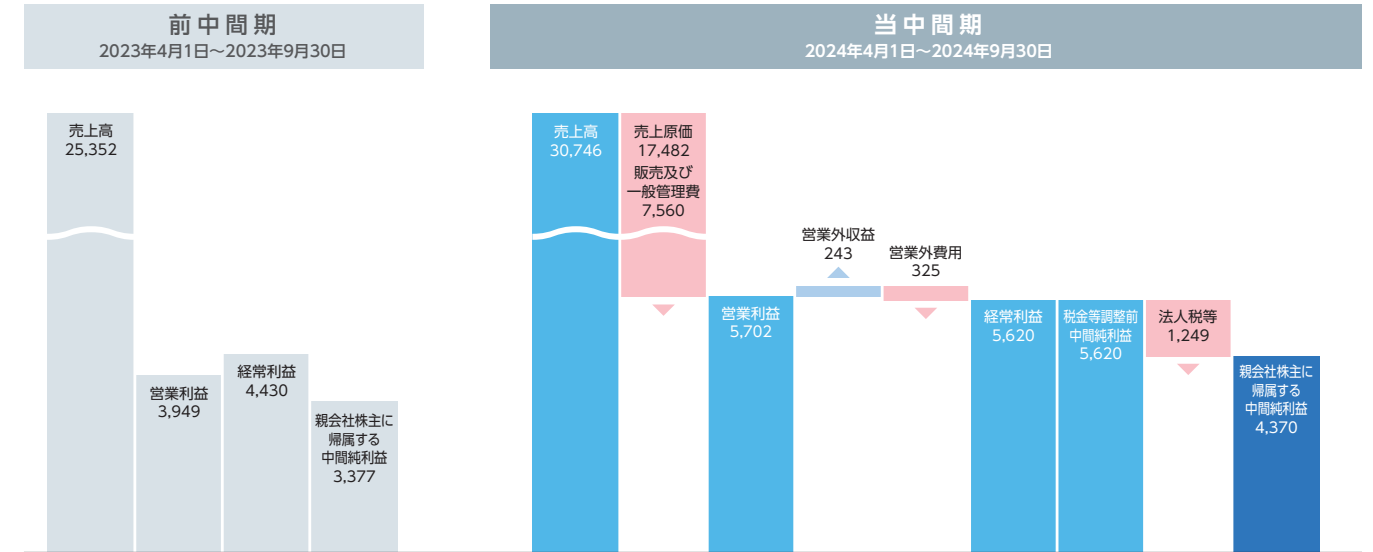
FUJIMI INCORPORATED 広報チャンネル

<https://www.youtube.com/@fujimiincorporated5384>

連結貸借対照表の概要 (百万円)



連結損益計算書の概要 (百万円)



解説

総資産

前連結会計年度末に比べ、2,476百万円増加し、85,476百万円となりました。これは、原材料及び貯蔵品が751百万円減少したものの、土地が2,853百万円増加したことなどによるものです。

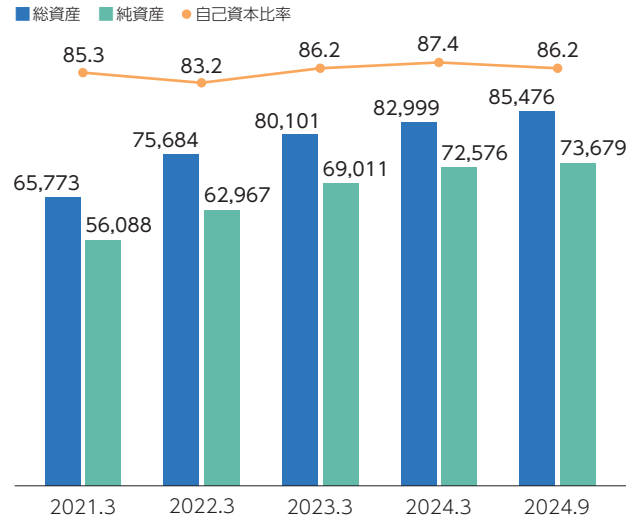
負債

前連結会計年度末に比べ、1,373百万円増加し、11,796百万円となりました。これは、退職給付に係る負債が13百万円減少したものの、買掛金が836百万円、未払法人税等が540百万円それぞれ増加したことなどによるものです。

純資産

前連結会計年度末に比べ、1,103百万円増加し、73,679百万円となりました。これは、為替換算調整勘定が716百万円減少したものの、利益剰余金が1,603百万円増加したことなどによるものです。

総資産・純資産・自己資本比率 (百万円、%)



解説

売上高

半導体デバイスは、AI向け需要が牽引し、長らく続いた調整局面は出口が見えてきました。一方で、パソコンやスマートフォン向けなどの需要は力強さを欠いており、全体としては依然バラつきがあるため、本格的な回復には今しばらく時間を要するものと思われます。当社の半導体向け製品の販売が増加したことに加えて円安により、売上高は前年同期比21.3%増の30,746百万円となりました。

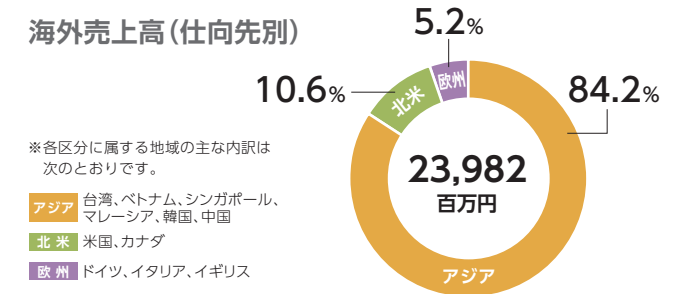
営業利益

前年同期比44.4%増の5,702百万円となりました。

親会社株主に帰属する中間純利益

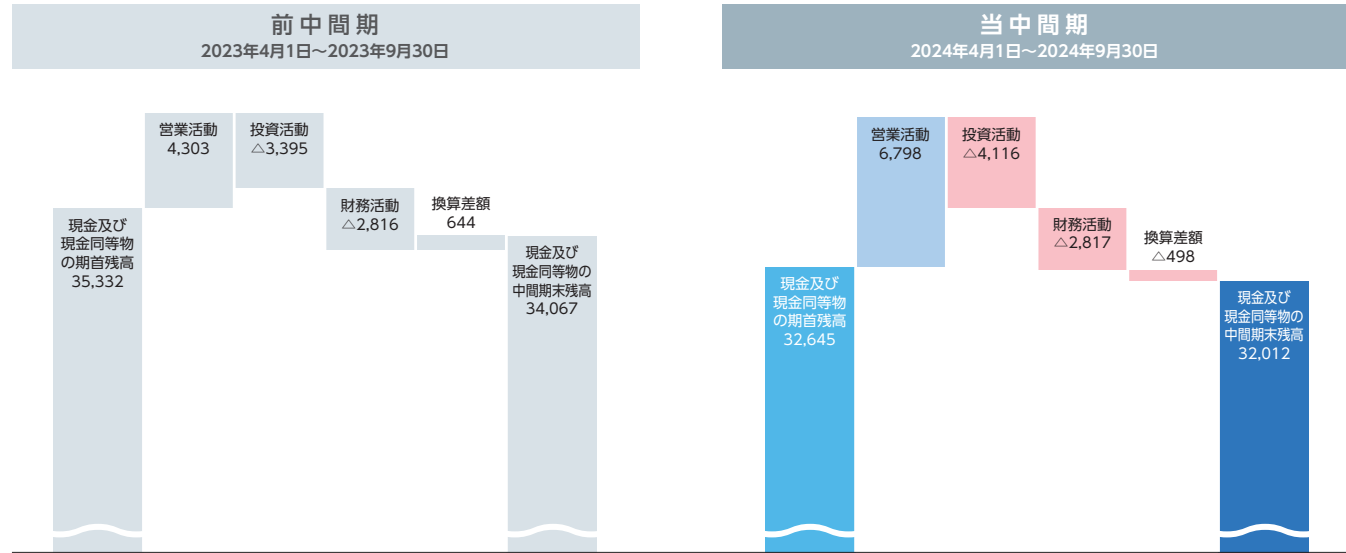
前年同期比29.4%増の4,370百万円となりました。

海外売上高 (仕向先別)

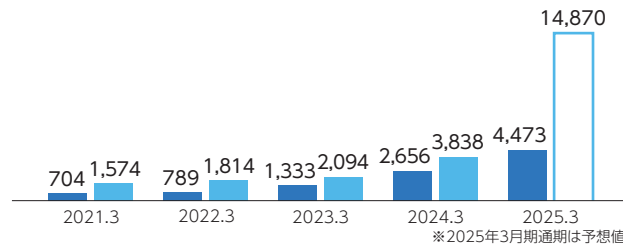


	前中間期末 2023年4月1日～ 2023年9月30日	当中間期末 2024年4月1日～ 2024年9月30日
海外売上高 (百万円)	19,159	23,982
連結売上高 (百万円)	25,352	30,746
連結売上高に占める割合 (%)	75.6	78.0

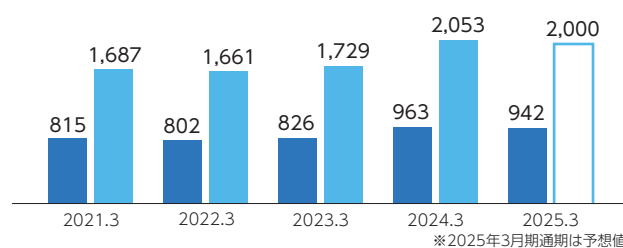
連結キャッシュ・フロー計算書の概要 (百万円)



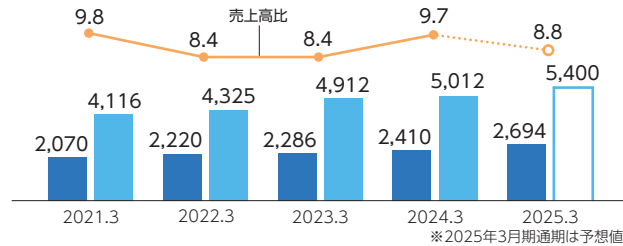
設備投資 (百万円) ■ 上期 ■ 通期



減価償却費 (百万円) ■ 上期 ■ 通期



研究開発費・売上高比 (百万円、%) ■ 上期 ■ 通期



利益配分に関する基本方針及び当期の配当

当社は、株主に対する適正な利益還元を行うことを経営の重要課題と認識し、配当につきましては連結配当性向を55%以上とすることを目標として、業績に応じた積極的な株主還元を実施するとともに安定配当の継続にも留意することを基本方針としております。このような方針のもと、1株につき中間配当を36.67円とし、年間配当は73.34円とする予定です。

株式情報 2024年9月30日現在

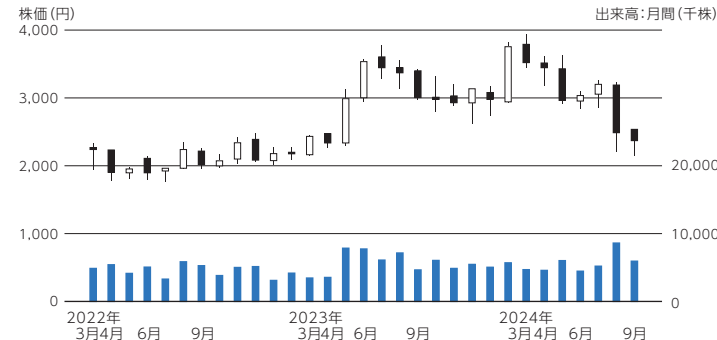
株式の状況

発行可能株式総数	320,000千株
発行済株式の総数	80,098千株
株主数	11,947名

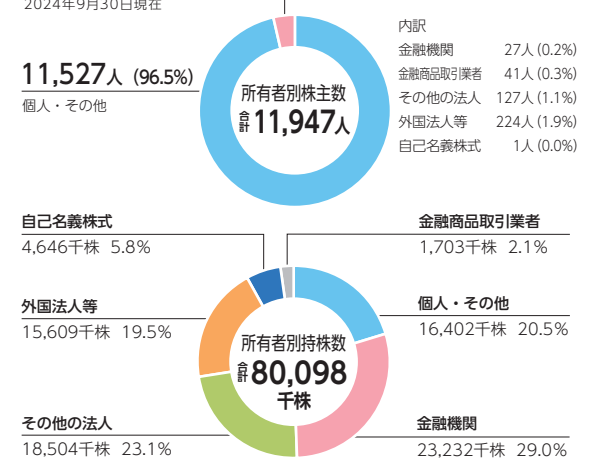
大株主(株主名)	持株数(千株)*1	持株比率(%)*2
有限会社コマ	13,381	17.7
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	7,524	9.9
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	5,689	7.5
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505001	4,659	6.1
株式会社三菱UFJ銀行	2,185	2.8
日本生命保険相互会社	1,918	2.5
フジミ取引先持株会	1,906	2.5
一般財団法人越山科学技術振興財団	1,800	2.3
第一生命保険株式会社	1,417	1.8
関 敬史	1,323	1.7

\*1 持株数は千株未満を切り捨て、持株比率は小数点第2位以下を切り捨てています。  
\*2 持株比率は、自己株式(4,646,167株)を控除して計算しております。

株価及び出来高の推移



株主分布状況 2024年9月30日現在



役員

代表取締役社長	関 敬史
常務取締役	大脇 寿樹
常務取締役	鈴木 勝弘
取締役	川下 政美*
取締役	浅井 侯序*
取締役	吉村 温子*
取締役	山崎 直子*
常勤監査役	藤川 佳明
監査役	高橋 正彦**
監査役	岡野 勝**

\*印は社外取締役 \*\*印は社外監査役

会社データ 2024年9月30日現在

商号	株式会社フジミインコーポレーテッド
証券コード	5384
本社所在地	愛知県清須市西枇杷島町地領2-1-1 TEL. 052-503-8181(代表)
設立年月日	1953年(昭和28年)3月20日
資本金	4,753百万円
代表者	代表取締役社長 関 敬史
従業員数	1,165名(単体830名)